

< 相談支援部会：活動報告および今年度事業計画 >

活動報告

1. 下記の9の目的を制定した

各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築を行うこと

各拠点病院におけるがん種別セカンドオピニオンリスト作成と沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリスト作成すること

拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上を図る

拠点病院以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対応する沖縄県からの支援を求めること

がん相談のデータの解析が行える仕組みを作成すること

定期的開催される相談員研修会の企画すること（研修部会と合同企画）

各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）の設置すること
ピアサポーターの養成と各拠点病院でのピアサポートの実施すること

各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれに関しての沖縄県からの支援を求めること

インターネットを利用した患者向けがん情報の発信すること（協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する）

2. 上記目的 にある「各拠点病院におけるがん種別セカンドオピニオンリスト作成を行った。（協議会のホームページに掲載予定）

今年度事業計画

1. 各拠点病院において、院内のがん種別セカンドオピニオンリストを作成し、ホームページで公開する

2. 拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上のために、平成21年1月14日（水）16:00～18:00にがん相談支援実地研修会（医療ソーシャルワーカー向け、主催：未定）を実行する（研修部会との合同企画案）

3. がん準拠点病院を設置し、そこに対しての補助金等を県に求める。

（拠点病院以外へのがん相談支援センター及び院内がん登録の普及を図るために、沖縄県に対して『沖縄県がん診療連携病院準拠点病院制度 準拠点病院に対して補助金を支出し、逆に院内がん登録とがん相談支援に関して、義務付ける代わりに補助金交付を行う』の新設を提言する。）

4. 拠点病院共通の相談支援用紙を作成する（がん相談のデータ解析を行うため）

5. 各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設立支援を行う

6. 沖縄県におけるがん相談支援に関する苦情窓口を明確にする（協議会ホームページに掲載する。）

第2回沖縄県がん診療連携協議会 提案事項9 <相談支援部会>

事業名	『がん相談支援室の環境整備・人材育成』	
提案者名	沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会	
連絡先	琉球大学医学部附属病院がんセンター T E L : 098-895-1368 F A X : 098-895-1497	
事業概要	<p>【提案の目的】</p> <p>準拠点病院を含め、がん診療に特化した相談窓口として、相談者が安心できること、より良い判断や選択ができること、また最適な治療・サービスが受けられるよう支援するために相談室の環境を整備することを目的とする。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談室の整備及び相談室の設置 ・必要な相談員の確保及びそれに対する補助 ・相談員質の向上のための研修会への参加および研修費の補助 <p>【効果】</p> <p>相談制度を充実させることにより、患者の負担を軽減することができる。</p> <p>質の高い相談員を各病院に配置することにより、患者、患者家族、遺族の要望にこたえることができる。</p>	
	目標	相談支援センターとセカンドオピニオン制度(含む情報提供)および院内がん登録室を設立することを条件に、沖縄県独自の準拠点病院を、二次医療圏の八重山、宮古地区に一つずつ、中部地区、南部地区に2つずつ認定する
	事業費	1 拠点病院当たり 5,000,000 円 X 6 病院 = 30,000,000 円

第2回沖縄県がん診療連携協議会 提案事項 10 <相談支援部会>

事業名	『セカンドオピニオン』受診サポートプログラム	
提案者名	沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会	
連絡先	琉球大学医学部附属病院がんセンター T E L : 098-895-1368 F A X : 098-895-1497	
事業概要	<p>【提案の目的】</p> <p>離島圏、土地柄等関係なくすべての患者がセカンドオピニオンを受けられるよう環境を作る。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドオピニオン外来受診時の移動費の補助 ・セカンドオピニオン医のいる医療機関の紹介 ・他医療機関との連携強化 <p>【効果】</p> <p>セカンドオピニオンを受けることにより、患者にとってよりよい治療方法を選択することができる。</p>	
	目標	離島圏に居住する患者 1 件当たり往復航空券を補助する
	事業費	1 件当たり 50,000 円 X 20 人程度 = 1,000,000 円

相談支援部会

< 委員 >

患者：

患者家族または遺族：

有識者：

沖縄県 南部福祉保健所健康推進班：

島袋 全哲

北部地区医師会病院：

仲村 実和子

沖縄県立中部病院：

金城 尚美

那覇市立病院：

樋口 美智子

琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター：

石郷岡 美穂

琉球大学医学部附属病院 がんセンター：

増田 昌人

琉球大学医学部附属病院 事務局：

< 目的および方向性 >

各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築

各拠点病院におけるがん種別セカンドオピニオンリスト作成と沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリスト作成

拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上と、それ以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対応する沖縄県からの支援

がん相談のデータの解析が行える仕組み作り

定期的に行われる相談員研修会の企画（研修部会と合同企画）

各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）の設置

ピアサポーターの養成と各拠点病院でのピアサポートの実施

各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれに関しての沖縄県からの支援

インターネットを利用した患者向けがん情報の発信（協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する）

< 議題 >

1. 相談支援ネットワークを構築し、拠点病院以外の病院で治療を受けている患者でも拠点病院で相談支援が受けられるようにするためにはどうするか。
2. セカンドオピニオンリストを各拠点病院でそれぞれ作成し、HP上で掲載できるようにするためにはどうするか。
3. 相談支援員の質向上をはかるにはどうするか。
4. データ解析を行えるしくみを作るためにはどうするか。
5. 相談員研修会をどのように企画・開催していくか。
6. がん患者及びその家族が心の悩みや体験を語り合えるようにするにはどうするか。
7. がん準拠点病院を設置し、そこに対しての補助金等を県に求めるためにはどうするか。

各都道府県知事 殿

厚生労働省健康局長

がん診療連携拠点病院の整備について
以下省略

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針

I がん診療連携拠点病院の指定について

2 都道府県は、専門的ながん医療の提供等を行う医療機関の整備を図るとともに、当該都道府県におけるがん診療の連携協力体制の整備を図るほか、がん患者に対する相談支援及び情報提供を行うため、都道府県がん診療連携拠点病院にあっては、都道府県に 1 カ所、地域がん診療連携拠点病院にあっては、2 次医療圏（都道府県がん診療連携拠点病院が整備されている 2 次医療圏を除く。）に 1 カ所整備するものとする。ただし、当該都道府県におけるがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られることが明確である場合には、この限りでないものとする。なお、この場合には、がん対策基本法（平成 18 年法律第 98 号）第 11 条第 1 項に規定する都道府県がん対策推進計画との整合性にも留意すること。

II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

1 診療体制

(1) 診療機能

[1] 集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供

（省略）

[2] 化学療法の提供体制

（省略）

[3] 緩和ケアの提供体制

カ 緩和ケアに関する要請及び相談に関する受付窓口を設けるなど、地域の医療機関及び在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備すること。

[4] 病病連携・病診連携の協力体制

（省略）

[5] セカンドオピニオンの提示体制

我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオン（診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。以下同じ。）を提示する体制を有すること。

2 研修の実施体制

(1) 相談支援センター

[1]及び[2]に掲げる相談支援を行う機能を有する部門（以下「相談支援センター」という。なお、相談支援センター以外の名称を用いても差し支えないが、その場合には、がん医療に関する相談支援を行うことが分かる名称を用いることが望ましい。）を設置し、当該部門において、アからキまでに掲げる業務を行うこと。なお、院内の見やすい場所に相談支援センターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、相談支援センターについて積極的に広報すること。

[1] 国立がんセンターがん対策情報センター（以下「がん対策情報センター」という。）による研修を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ 1 人以上配置すること。

[2] 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備すること。また、相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組むこと。

<相談支援センターの業務>

- ア がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供
- イ 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供
- ウ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介エ がん患者の療養上の相談
- エ がん患者の療養上の相談
- オ 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- カ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- キ その他相談支援に関すること

III 特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合の指定要件について
(省略)

IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について

3 地域がん診療連携拠点病院等に対し、情報提供、症例相談及び診療支援を行うこと。

4 都道府県がん診療連携協議会を設置し、当該協議会は、次に掲げる事項を行うこと。

(1)当該都道府県におけるがん診療の連携協力体制及び相談支援の提供体制その他のがん医療に関する情報交換を行うこと。

V 既指定病院の取扱い、指定・指定の更新の推薦手続等、指針の見直し及び施行期日について
(省略)

沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会事前打ち合わせ

日 時 : 平成20年 9月12日(金) 15:00~

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

打ち合わせ内容

- 1 . 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶
- 2 . 各委員自己紹介
- 3 . がん対策基本法について
- 4 . がん対策推進基本計画について
- 5 . 沖縄県がん診療連携拠点病院について
- 6 . がん診療連携拠点病院の整備に関する指針読み合せ
- 7 . 部会の目的・やるべき仕事の検討
- 8 . メーリングリストの作成
- 9 . 部会の委員にはどういう人が必要か
- 10 . 次回の開催日程
- 11 . その他

沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会事前打ち合わせメモ

- [日時] 平成20年 9月12日(金) 15:00~
- [場所] 琉球大学医学部附属病院がんセンター
- [参加者] 5名: 仲村実和子(北部地区医師会病院) 樋口美智子(那覇市立病院)
石郷岡美穂(琉大病院 医療福祉支援センター) 増田昌人(琉大病院がんセンター)
- [欠席者] 1名: 金城 尚美(県立中部病院)
- [陪席者] 2名: 桃原ひかる、西田悠希子(琉大病院がんセンター)
- [協議内容]

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶

協議内容に先立って、琉大病院がんセンター長増田より挨拶があった。

2. 各委員自己紹介

各委員がそれぞれ自己紹介を行った。

3. がん対策基本法について

琉大病院がんセンター長増田より、がん対策基本法についての説明があり、がん対策を総合的かつ計画的に推進していくために、国・県が連携していくことを確認した。

4. がん対策推進基本計画について

引き続き、増田よりがん対策推進基本計画について説明があり、重点的に取り組むべき事項を委員全員で確認した。

5. 沖縄県がん診療連携拠点病院について

琉大病院がんセンター長増田より沖縄県がん診療連携拠点病院についての説明があり、関係機関との連携を強化し、相互に支援していくことが全会一致で承認された。

6. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針(第0301001号厚生労働省健康局長通知)の読み合せ

委員全員で指針の読み合わせを行い、部会の役割を確認した。

7. 部会の目的・やるべき仕事の検討

部会の目的について話し合い、3つの目的以外に 各病院へ新しく相談用紙を配布し、後日用紙を基にデータ解析ができるしくみを作ること 相談員の質の向上をはかるため相談員研修会(土・日に行う)を定期的で開催すること がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けることの3点が目的に加わることが承認された。

8. メーリングリストの作成

連絡先登録用紙を配布して、メーリングリストを作成することが承認された。

9. 部会の委員にはどういう人が必要か

患者、患者家族または遺族、有識者等はこれから部会の中で人選していくことが承認された。

10. 次回開催日程

月1回の部会開催を目指し、次回より事務係とスケジュール調整を行い日程を確定していくことが承認された。

11. その他

資料があれば事前に送付し、部会ではすぐに話し合いが始められるようにすることが承認された。

平成20年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

日時：平成20年 10月27日(月) 09:30～

場所：琉球大学医学部附属病院3階 がんセンター

打ち合わせ内容：

1. 委嘱状授与
2. 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会事前打ち合わせメモについて
3. 部会委員について
4. 部会の目的及び方向性の確認、部会でやるべき仕事の再検討について
5. 今年度の事業計画
6. 第二回 がん診療連携協議会に提案する事項
7. 連絡先一覧、およびメーリングリストの作成について
8. 次回の開催日程について
9. その他

平成 20 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成 20 年 10 月 27 日（月） 9：30～11：30

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 5 名

仲村実和子（北部地区医師会病院） 金城尚美（沖縄県立中部病院）

樋口美智子（那覇市立病院） 石郷岡美穂（琉大病院医療福祉支援センター）

増田昌人（琉大病院がんセンター）

欠席者： 2 名 沖縄県職員 琉球大学医学部附属病院事務局

陪席者： 1 名 西田悠希子（琉大病院 がんセンター）

〔協議内容〕

1. 委嘱状授与

琉大病院がんセンター長増田より、委員全員に委嘱状が授与された。

2. 各委員自己紹介

各委員がそれぞれ自己紹介を行った。

3. 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会事前打ち合わせメモについて（資料 1）

沖縄県がん診療連携協議会相談支援プレ部会メモが承認された。

4. 部会の目的および部会すべき事項の再検討について（資料 3）（資料 4）

がんセンター長増田より平成 20 年 9 月 30 日に行われた沖縄県がん診療連携協議会にて承認された目的及び今年度の事業計画に基づき（資料 3、4）説明がなされた。

沖縄県のがん相談支援に関する苦情窓口を明確にし、部会のホームページ上に掲載することが提案され、今年度の事業計画 8 として加えられることが承認された。

メーリングリストについて、拠点病院間の情報交換のためにもメーリングリストの作成は必要であることが協議され、承認された。

セカンドオピニオンリストについては、今年度は各拠点病院の院内がん種別の情報を 12 月の協議会までに作成し、インターネット上で公開することが了承された。

がん相談支援実務者向け研修会については、今年度内に 1 回は開催し、来月の支援部会で日程を決定することが承認された。第 1 回目の研修会はセミクローズで各拠点病院間の情報交換や正しいがん情報の収集法についての研修会はどうかとの意見が挙がった。

相談記録用紙については、各拠点病院共通の書式を使用することが承認された。資料として配布された OPTIM（緩和ケア普及のためのプロジェクト）の相談記録をもとに各拠点病院で検討し、来月の部会で様式を決定されることが了承された。

「第 2 回沖縄県がん診療連携協議会」への提案事項（資料 5）については、沖縄県に予算化を要望する項目としてピアサポーターの養成のための研修費、相談室の環境整備・人件費等が挙がった。その他提案事項の有無については次回の部会で協議することとなった。

患者会について、患者会がない拠点病院は年度内に一つ以上のがん種の患者会設立のための支援を行うことが承認された。

5. 部会の委員について（資料 2）

患者、患者遺族または家族が部会の委員に必要であるということが改めて確認された。

6. 部会委員連絡先（資料 6）

相談支援部会委員の連絡先一覧が確認された。

7. 次回開催日程（資料 7）

資料 7 の日程表を記入後、各委員より返送していただくことが承認された。

平成20年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

日時：平成20年 12月 5日(金) 15:00～

場所：琉球大学医学部附属病院3階 がんセンター

【報告事項】

1. 第1回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨(資料1)
2. 那覇市立病院 乳がん患者の会 信友会(資料2)

【協議事項】

1. 委嘱状授与
2. 部会長、副部会長選出
3. 各拠点病院の院内がん種別のセカンドオピニオンリスト提出について(資料3)
4. 相談記録様式について(資料4)
5. 相談支援部会 実務者向け研修会の日程および研修内容について
6. 第2回 がん診療連携協議会に提案する事項について
7. 部会会員選任について(資料5)
8. 相談支援部会 開催日程について
9. その他

目的 乳がんの患者及び家族との交流を図ると共に、医療スタッフと連携しながら、体験や情報交換・勉強会で知識を深める

乳がんと診断されただけで、人生に絶望を感じる。

ご自身が乳がんになる、またご家族や友人・知人が乳がんになると、
経済的負担及びさまざまな不安や悩みが生じてくる。

術後及び抗ガン剤治療の精神的苦痛・肉体的苦痛は、同じ思いを体験した者同志なら、お互いの不安や苦しみをさらに分かち合える。

一人ではない！前向きに進もう！

同じ思いをした支え合える仲間がいる！

活動 サタデーランチ：

術後3ヶ月経過した方々と、サタデーランチを設けている 年4回（3ヶ月ごと）

術後3ヶ月は心身共に不安定である。その様な状況で話し合える仲間がいる。

楽しく会食をしながら、患者間の情報交換をしたり、医師及び看護師からの乳がんに対する知識とアドバイスを受け、質疑応答をしたりして、親睦を深めている。

参加者：医師、病棟師長、病棟看護師、外来看護師、薬剤師

信友会の会長、副会長と術後3ヶ月の方

乳癌塾：

乳癌塾で乳がんに対する正しい知識を習得し、乳がんの早期発見・早期治療の重要性を広める啓発運動と、検診の大切さを訴えて、一人でも多くの方にお伝えしていく事を目的としている。

主催：那覇市立病院乳腺外科＋プレストケアチーム

（プレストケアチームとは、那覇市立病院の看護師、薬剤師、検査技師等で所属する研究チームのことです。）

毎月1回 土曜日 13：00～15：00

交流会：

乳がんと診断されて、落ち込み苦しんでいる方と交わり、精神的不安を和らげる。

体験談や情報交換の場を持ち、お互いの共感を分かち合う！

社団法人北部地区医師会病院 セカンドオピニオンリスト

呼吸器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肺がん	宮城 一也	日本内科学会認定医	呼吸器内科

乳腺・内分泌

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
乳がん	中力 美和	日本外科学会専門医	乳腺外科

上部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
胃がん	友利 健彦 幸地 周	日本外科学会専門医 日本消化器外科認定医	消化器一般外科 消化器内科

下部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
大腸（結腸・直腸）がん	友利 健彦 諸喜田 林	日本外科学会専門医 日本消化器外科認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会	消化器一般外科 消化器内科

肝臓・胆嚢・膵臓

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肝細胞がん 胆管がん 胆嚢がん	友利 健彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科認定医	消化器一般外科
膵がん 膵内分泌腫瘍	大西 弘之	日本消化器内視鏡学会専門医	消化器内科

沖縄県立中部病院 セカンドオピニオンリスト

脳

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
脳腫瘍	仲宗根 進		脳神経外科

眼

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
眼腫瘍	仲吉 出		眼科

耳鼻咽喉

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
喉頭頸部がん	崎浜 教之	日本がん治療認定医 暫定教育医 他	耳鼻咽喉科

呼吸器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肺がん 絨隔腫瘍	嵩下 英次郎 玉城 仁		外科 内科

乳腺・内分泌

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
乳がん ・ 乳腺腫瘍	ぐし宮城 正典 上田 真		外科 外科

上部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
胃がん ・ 胃腫瘍	村上 隆啓 菊池 馨	日本がん治療認定医	外科 内科

下部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
大腸がん ・ 大腸腫瘍	上田 真 菊地 馨	日本がん治療認定医	外科 内科

肝臓・胆嚢・膵臓

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
胆管がん 胆嚢がん 膵がん 膵内分泌腫瘍	八幡 浩信 島袋 容司樹 山口 裕 久保田 富秋 慶田 喜秀		外科 内科 内科 内科 内科

泌尿器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
腎細胞がん 精巣（睾丸）腫瘍 前立腺がん 膀胱がん	新垣 義孝		泌尿器科

婦人科

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
子宮頸がん 子宮体がん（子宮内膜がん） 卵巣がん	高橋 慶行	がん治療認定医 他	産婦人科

皮膚

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
皮膚腫瘍	佐藤 浩信		皮膚科

骨・筋肉

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
軟部肉腫（成人） 軟部肉腫（小児）	玉城 和光	日本臨床腫瘍学会暫定指導医 他	内科

小児

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
小児がん	福里 吉充		小児科

血液・リンパ

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
血液腫瘍	玉城 和光	日本臨床腫瘍学会暫定指導医 他	内科

原発不明がん

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
原発不明がん	玉城 和光	日本臨床腫瘍学会暫定指導医 他	内科

独立行政法人 那覇市立病院 セカンドオピニオンリスト

脳

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
脳腫瘍	島袋 洋 百次 仁 豊見山 直樹	日本脳神経外科学会脳神経外科 専門医 他	脳神経外科

眼

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
眼、眼窩腫瘍	久志 雅和		眼科

呼吸器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肺がん 中皮腫	上原 忠司 照喜名 重一	日本外科学会専門医・認定医他 日本内科学会認定医 日本呼吸学会専門医	外科 内科

乳腺・内分泌

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
乳がん	久高 学	日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他	外科

上部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
胃がん 食道がん 消化管間質腫瘍	宮里 浩 友利 寛文 島尻 博人 仲地 紀哉 豊見山 良作	日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会指導医・専門医他	外科 外科 内科 内科 内科

下部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
大腸（結腸・直腸）がん	宮里 浩 友利 寛文 島尻 博人 仲地 紀哉 豊見山 良作	日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会指導医・専門医他	外科 外科 内科 内科 内科

肝臓・胆嚢・膵臓

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肝がん 胆道がん 膵がん	山城 和也 友利 寛文 島尻 博人 仲地 紀哉 豊見山 良作	日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会指導医・専門医他	外科 外科 内科 内科 内科

婦人科

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
子宮がん 卵巣がん その他の女性生殖器がん	當間 敬	日本産婦人科学会専門医	産婦人科

血液・リンパ

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
血液腫瘍	新垣 均 内原 潤之介	日本内科学会認定医	内科

その他

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
縦隔腫瘍	上原 忠司	日本外科学会専門医・認定医他	外科
甲状腺がん	久高 弘志	日本外科学会指導医・専門医・ 認定医 他	外科

琉球大学医学部附属病院 セカンドオピニオンリスト

脳

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
神経膠腫 下垂体腺腫 聴神経腫瘍 脳のリンパ腫 皮膚のリンパ腫	吉井 與志彦 土田 幸広	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経外科学会専門医	脳神経外科 脳神経外科

眼

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
網膜芽細胞腫 ぶどう膜悪性黒色腫	加治屋 志郎	日本眼科学会専門医	眼科

耳鼻咽喉

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
上咽頭がん 中咽頭がん 下咽頭がん 喉頭がん	鈴木 幹男 長谷川 昌宏	日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科

口腔

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
舌がん 歯肉がん	砂川 元 新崎 章	日本口腔外科学会専門医 日本口腔外科学会専門医	歯科口腔外科 歯科口腔外科

呼吸器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肺がん 胸腺腫 中皮腫	藤田 次郎 平安 恒男	日本呼吸器病学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医	第一内科 第二外科

乳腺・内分泌

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
乳がん 甲状腺がん	宮国 孝男	日本乳癌学会専門医	第一外科

上部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
胃がん 食道がん	西巻 正 下地 英明	日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医	第一外科 第一外科

下部消化管

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
大腸（結腸・直腸）がん	佐村 博範 長濱 正吉	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医	第一外科 第一外科

肝臓・胆嚢・膵臓

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
肝細胞がん 胆管がん 胆嚢がん 膵がん 膵内分泌腫瘍	白石 祐之 前城 達次 山城 剛	日本消化器外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本肝臓学会専門医	第一外科 第一内科 輸血部

泌尿器

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
陰茎がん 腎盂・尿管がん 腎細胞がん 精巣（睾丸）腫瘍 前立腺がん 膀胱がん	斉藤 誠一 大城 吉則	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会専門医	泌尿器科 泌尿器科

婦人科

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
外陰がん 子宮頸がん 子宮体がん（子宮内膜がん） 子宮肉腫 絨毛性疾患 膣がん 卵巣がん 卵巣胚細胞腫瘍	青木 陽一 長井 裕	日本婦人科腫瘍学会専門医 日本婦人科腫瘍学会専門医	産婦人科 産婦人科

皮膚

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
皮膚がん前駆症・表皮内がん 有棘細胞がん 基底細胞がん 悪性黒色腫（皮膚） 菌状息肉腫 脳のリンパ腫 皮膚のリンパ腫	上里 博	日本皮膚科学会専門医	皮膚科

骨・筋肉

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
悪性骨腫瘍 軟部肉腫（成人） 軟部肉腫（小児）	半澤 浩明	日本整形外科学会専門医	整形外科

小児

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
脳腫瘍（小児） 網膜芽細胞腫 軟部肉腫（小児）	岡村 隆行 浜田 聡	日本小児科学会専門医	小児科 小児科

血液・リンパ

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
急性骨髄性白血病 急性リンパ性白血病 骨髄異形成症候群 慢性骨髄性白血病・慢性骨髄増殖性疾患 成人T細胞白血病リンパ腫 慢性リンパ性白血病・小細胞性リンパ腫 多発性骨髄腫 ホジキンリンパ腫 中悪性度非ホジキンリンパ腫 パーキットリンパ腫 リンパ芽球性リンパ腫 濾胞性リンパ腫 マントル細胞リンパ腫 MALTリンパ腫 NK細胞リンパ腫 脳のリンパ腫 皮膚のリンパ腫	増田 昌人 友寄 毅昭	日本血液学会専門医 日本血液学会専門医	がんセンター 第二内科

原発不明がん

病名	担当医氏名	主要専門医資格	所属
原発不明がん	増田 昌人	日本臨床腫瘍学会専門医	がんセンター

抗がん剤治療全般

治療	担当医氏名	主要専門医資格	所属
抗がん剤治療	増田 昌人	日本臨床腫瘍学会専門医	がんセンター

放射線治療全般

治療	担当医氏名	主要専門医資格	所属
放射線治療全般	戸板 孝文 小川 和彦	日本医学放射線学会専門医 日本医学放射線学会専門医	放射線科 放射線科

身体的緩和ケア

治療	担当医氏名	主要専門医資格	所属
身体的緩和ケア	中村 清哉 比嘉 達也	日本麻酔科学会専門医 日本麻酔科学会専門医	麻酔科 麻酔科

精神的緩和ケア

治療	担当医氏名	主要専門医資格	所属
精神的緩和ケア	外間 宏人 薬師 崇		精神神経科 精神神経科

病理診断

診断	担当医氏名	主要専門医資格	所属
病理診断	吉見 直己 加藤 誠也	日本病理学会専門医 日本病理学会専門医	腫瘍病理 細胞病理

OPTIM (緩和ケア普及のためのプロジェクト) 相談記録シート

相談記録

援助開始日 年 月 日 終了日 年 月 日(中止:終結)

ID			担当者	
フリガナ			所属	院内・院外・その他()
氏名	男 ・ 女	病棟・外来	病棟・外来・その他(在宅)	
		主治医	科	医師
生年月日	M・T・S・H	年	月	日(歳)
住所			病状	現症 既往歴
連絡先 (TEL)				
		入院状況	入院	年 月 日
			退院	年 月 日
相談形態	来訪・電話・FAX・E-mail・その他()			
紹介経路	患者・家族・院内医師・院内看護師・院内他職員・関係機関・その他()			
相談者	患者・家族(夫・妻・子・父・母)・院内医師・院内看護師・院内他職員・関係機関・その他()			
援助区分	医療費・生活費・受療(受診・入院・情報)・療養中生活・在宅サービス・家族関係・家族外関係 心理・IC自己決定・退院(在宅・その他)・就労・就学・その他()			
詳細分類	悪性腫瘍(裏面へ) 住所不定 在宅連携パス 虐待関係 権利擁護・苦情 S・O 診療録開示			
【家族構成】		【経済状況等の生活環境の留意点】		
キーパーソン ()				
【社会保障制度等】				
医療保険 国保・社保(上位・一般・非課税) 高齢者医療・老人医療(2割・1割・非「1・2」)・無保険 公費【特定疾患・小児慢性・育成医療・更正医療・通院公費・その他()】				
労災:交通事故:生活保護(担当 連絡先)				
介護保険:要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5) 申請中(申請) ケアマネージャー(担当 連絡先)				
利用サービス()				
各種手帳【身障手帳(障害):精神福祉手帳:療育手帳:その他() 級】 その他()				
【相談内容】				
【援助区分】				

患者自身の状況	治療状況	1)不明 2)診断なし 3)治療前 4)治療中(抗腫瘍治療 緩和治療) 5)治療後/経過観察中
	がんの状況	1)不明 2)初期 3)再発・転移
	がんの部位(原発)	1)不明 2)眼・脳・神経 3)頭頸部 4)食道がん 5)胃がん 6)大腸がん 7)肝臓がん 8)胆管・胆嚢がん 9)すい臓がん 10)肺がん 11)乳がん 12)子宮・卵巣がん 13)前立腺がん 14)腎・膀胱がん 15)甲状腺がん 16)リンパ・血液 17)骨 18)皮膚がん 19)中皮腫・軟部腫瘍 20)原発不明がん 21)その他 ()

【相談分類】記入者の判断で主要相談項目ひとつに、副次的相談項目に (複数選択可)

1. 療養場所に関する相談

緩和ケア病棟・ホスピス
在宅
転医・転院
その他

2. 社会的な問題に関する相談

家族との関係
周囲(家族以外)との関係
介護力の不足
就労・就学
日常生活
医療費
生活費
社会制度
その他

3. がん診断・治療に関する相談

診断・治療の理解・選択
医療者との関係
告知
予防・検診
検査・治療
臨床試験
補完代替療法
その他

4. 受診受療に関する相談

外来受診・入院方法
緩和ケア・ホスピスケア
セカンドオピニオン
検診
検査
交通手段
診療担当者(診療科・担当医)
治療実績
その他

5. 身体的な問題に関する相談

疼痛
疼痛以外の身体症状
抗腫瘍治療に伴う副作用・後遺症
食事・栄養
その他

6. 介護者の問題に関する相談

不安・抑うつ・悲嘆などの精神的負担
医療者との関係
患者との関係
介護・看護・養育
その他

7. 精神的な問題に関する相談

不安・抑うつ・悲嘆などの精神的負担
生き方・生きがい・価値観
病気との取り組み方
その他

8. その他

遺族
患者会・家族会
意見・要望
その他

介入内容	対応職種	ソーシャルワーカー 看護師 その他()
	対応分類(複数選択可)	他専門職への紹介 該当する紹介先をチェック(複数選択可)
		情報提供 緩和ケア外来 緩和ケアチーム
		調整的支援 緩和ケア病棟 ペインクリニック
精神的サポート 在宅緩和ケア医 訪問看護ステーション		
	その他 居宅介護支援事業所 精神腫瘍科・精神科	
	() 腫瘍医・セカンドオピニオン その他()	

那覇市立病院様式

がん対策情報センターで収集予定の項目		各施設で追加され得る項目		
1.受付日：08-	2008年 月 日 相談時間: 分	午後 時 分		
2.対応方法	1) 面談	M S W NO. :		
	2) 電話	対応者 (相談室: 連携室:)		
	3) その他	FAX、Eメール		
3.相談者	年齢	0)不明	氏名	
			ID:	
	性別	1)男	居住地域	
		2)女	____ 沖縄県 ____ 都道府県	
	相談者の カテゴリー	0)不明	市	
		1) 患者本人	* 具体的な相談者の状況 :	
		2) 家族	例) 患者本人の婚約者	
		3) 友人・知人		
		4) 一般		
		5) 医療関係者		
6) その他				
利用回数	0)不明			
	1) 初めて			
	2) 2回目以上			
4.患者自身の状況	年齢	0)不明	居住地域	
		才	____ 都道府県	
	性別	1)男	市	
		2)女		
	受診状況	0)不明		
		1)当院	・入院中	(病棟 号室)
			・外来通院中	* 具体的な患者自身の状況 :
		2)他院	・入院中	例) 病院 科に通院中、 主治医: 医師
			・外来通院中	
	3)なし			
	治療状況	0) 不明		
		1) 診断なし		
		2) 治療前		
		3) 治療中		
	がんの状況	4) 治療後/経過観察中		
		0) 不明		
		1) 初発		
	がんの種類	2) 再発・転移		
		0) 不明		
		1)眼・脳・神経		
2)頭頸部				
3)食道がん				
4)胃がん				
5)大腸がん				
6)肝臓がん				
7)すい臓がん				
8)肺がん				
9)乳がん				
10)子宮・卵巣がん				
11)前立腺がん				
12)腎・膀胱がん				
13)甲状腺がん				
14)リンパ・血液				
15)骨				
16)皮膚がん				
17)中皮腫・軟部腫瘍				
18)原発不明がん				

	小項目（複数選択可）	大項目（1つのみ）	*具体的な相談内容：
5.相談内容	がんの治療	一般医療情報	例： がんの手術を勧められたが、他医師の意見を聞きたい。どのようにしたら良いか？
	がんの検査		
	症状・副作用・後遺症	医療機関の情報	
	セカンドオピニオン（一般）		
	セカンドオピニオン（受入）		
	セカンドオピニオン（他へ紹介）		
	治療実績		
	受診方法・入院		
	転院		
	医療機関の紹介		
	検診		
	在宅医療		
	ホスピス・緩和ケア	日常生活	
	症状・副作用・後遺症への対応		
	食事・栄養		
	介護・看護・養育		
	社会生活（仕事・就労・学業）		
	医療費・生活費		
	補完代替療法		
	漠然とした不安		
告知	関係性		
医療者との関係			
患者 - 家族間の関係			
友人・知人・職場の人間関係			
患者会・家族会（ピア情報）	ピア情報		
その他	その他		
6.相談支援センター、相談内容に対する感想（評価）	1) この相談支援センターをどのように知りましたか。	*具体的な相談・支援内容：	
	(1) この病院の医療スタッフから説明を受けた	例) セカンドオピニオン外来について紹介し、具体的な申請手続きを説明した。	
	(2) パンフレットをみた		
	(3) 家族・友人・知人から聞いた		
	(4) インターネットで見つけた		
	(5) その他（ ）		
	2) 今回お話し頂いた内容は、あなたの役に立ちましたか。		
	(1) はい (2) いいえ (3) どちらともいえない		
	3) その他、今後の活動について要望がございましたらお聞かせ下さい。		
	()		

相 談 記 録

NO:

1. 受付日	年 月 日 ()	AM:PM : ~ :	受付者			
2. 対応方法	1) 面談 2) 電話 (外線 ・ 内線) 3) その他 ()					
3. 相談者	氏名 0) 不明 1) ()					
	年齢 0) 不明 1) () 才	性別 1) 男 2) 女				
	相談者 0) 不明 1) 患者本人 2) 家族 (親、配偶者、子供、兄弟、親類) 3) 友人・知人 4) 一般 () 5) 医療関係者 () 6) その他 ()					
	利用回数 0) 不明 1) 初めて 2) 2回目以上					
	相談者の居住区域 0) 不明 1) 県外 () 2) 県内 ()					
4. 患者自身の状況	氏名 0) 不明 1) ()					
	年齢 0) 不明 1) () 才	性別 1) 男 2) 女				
	受診状況 0) 不明 1) 当院 (入院中 ・ 外来通院中) 2) 他院 (入院中 ・ 外来通院中) 3) なし					
	治療状況 0) 不明 1) 診断なし 2) 治療前 3) 治療中 手術 抗がん剤 放射線療法 その他 ()					
	がんの種類 () 1) 眼・脳・神経 2) 頭頸部 3) 食道がん 4) 胃がん 5) 大腸がん 6) 肝臓がん 7) すい臓がん 8) 肺がん 9) 乳がん 10) 子宮・卵巣がん 11) 前立腺がん 12) 腎・膀胱がん 13) 甲状腺がん 14) リンパ・血液 15) 骨 16) 皮膚がん 17) 中皮腫・軟部腫瘍 18) 原発不明がん					
がんの状況 0) 不明 1) 初発 2) 再発・転移						
5. 相談内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">がんの治療 セカンドオピニオン (一般) 治療実績 医療機関の紹介 ホスピス・緩和ケア 食事・栄養 医療費・生活費 告知 友人・知人・職場の人間関係 その他</td> <td style="width: 33%;">がんの検査 セカンドオピニオン (受入) 受診方法・入院 検診 症状・副作用・後遺症への対応 介護・看護・養育 補完代替療法 医療者との関係</td> <td style="width: 33%;">症状・副作用・後遺症 セカンドオピニオン (他へ紹介) 転院 在宅医療 社会生活 (仕事・就労・学業) 漠然とした不安 患者一家族間の関係 患者会・家族会 (ピア情報)</td> </tr> </table>			がんの治療 セカンドオピニオン (一般) 治療実績 医療機関の紹介 ホスピス・緩和ケア 食事・栄養 医療費・生活費 告知 友人・知人・職場の人間関係 その他	がんの検査 セカンドオピニオン (受入) 受診方法・入院 検診 症状・副作用・後遺症への対応 介護・看護・養育 補完代替療法 医療者との関係	症状・副作用・後遺症 セカンドオピニオン (他へ紹介) 転院 在宅医療 社会生活 (仕事・就労・学業) 漠然とした不安 患者一家族間の関係 患者会・家族会 (ピア情報)
	がんの治療 セカンドオピニオン (一般) 治療実績 医療機関の紹介 ホスピス・緩和ケア 食事・栄養 医療費・生活費 告知 友人・知人・職場の人間関係 その他	がんの検査 セカンドオピニオン (受入) 受診方法・入院 検診 症状・副作用・後遺症への対応 介護・看護・養育 補完代替療法 医療者との関係	症状・副作用・後遺症 セカンドオピニオン (他へ紹介) 転院 在宅医療 社会生活 (仕事・就労・学業) 漠然とした不安 患者一家族間の関係 患者会・家族会 (ピア情報)			
()						
6. 相談支援内容に対する感想	<p>この相談支援センターをどのように知りましたか。 1) この病院の医療スタッフから説明を受けた 2) パンフレットをみた 3) 家族・友人・知人から聞いた 4) インターネットでみつけた 5) その他 ()</p> <p>今回お話頂いた内容は、あなたの役に立ちましたか。 1) はい 2) いいえ 3) どちらともいえない その他、今後の活動について要望がございましたらお聞かせ下さい。 ()</p>					

7. 相談内容の
回答

相談内容回答者サイン

終結日

平成 20 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会

日 時： 平成 20 年 12 月 5 日（金） 15：00～

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者： 5 名

島袋全哲（沖縄県南部福祉保健所健康推進班） 仲村実和子（北部地区医師会病院）

金城尚美（沖縄県立中部病院） 樋口美智子（那覇市立病院）

石郷岡美穂（琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター）

増田昌人（琉球大学医学部附属病院 がんセンター）

欠席者： 1 名 琉球大学医学部附属病院総務課

陪席者： 1 名 西田悠希子（琉球大学医学部附属病院 がんセンター）

議題に先立ち、第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

報告事項：

1. 那覇市立病院乳がん患者の会「信友会」について樋口委員より資料に基づき説明があった。
2. 北部地区医師会病院「オストミー・やんばる友の会」について仲村委員より資料に基づき説明があった。

協議事項：

1. 委嘱状授与
増田委員より琉球大学医学部附属病院長代理として島袋全哲委員に委嘱状を授与した。
2. 部会長、副部会長選出
部会長に樋口委員、副部会長に石郷岡委員ということが承認された。
3. 各拠点病院の院内がん種別のセカンドオピニオンリスト提出について（資料 3）
増田委員より各病院のホームページから国立がんセンターのがん情報ページに飛ぶことはできないかとの意見があったが、各病院の対応方法が異なるため、各病院から提示された資料に基づく情報に関しては、ホームページに載せることが承認された。
4. 相談記録様式について（資料 4）
各拠点病院により相談記録様式が異なるため、データを取りまとめ、OPTIM（緩和ケア普及のためのプロジェクト）の相談記録を基に那覇市立病院様式、北部地区医師会様式を盛り込んだ入力可能なデータを作成することが承認された。また相談記録様式については、仲村委員が作成し次回に検討することが承認された。
5. 相談支援部会 実務者向け研修会の日程および研修内容について
平成 21 年 1 月 14 日（水）16 時より、がん相談実務者向け研修会を開くことが承認された。
研修会の内容は、「正しいがん情報の収集方法について等」（案）場所は那覇市社会福祉協議会（予定）、対象者はがん相談にかかわる関係者とする事が承認された。
6. 第 2 回 がん診療連携協議会に提案する事項について
委員より、セカンドオピニオンを受診する際、移動費用など補助金を交付することはできないかという意見があり、協議会に提案することが承認された。増田委員より準拠点病院制度を設立し、4 拠点病院のみではなく、沖縄県における病院に相談施設を設置することを働きかけることが承認された。委員より、がん相談室の環境整備、および人員配置のための予算を拠出できないかという意見があり、承認された。
7. 部会会員選任について（資料 5）
次回に検討することが承認された。
8. 相談支援部会 開催日程について
平成 21 年 1 月より毎月第 3 金曜日の 15 時より行われることが承認された。